

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第5区分

【発行日】平成17年6月30日(2005.6.30)

【公開番号】特開2000-314084(P2000-314084A)

【公開日】平成12年11月14日(2000.11.14)

【出願番号】特願平11-124879

【国際特許分類第7版】

D 0 6 M 13/152

A 6 1 K 7/06

【F I】

D 0 6 M 13/152

A 6 1 K 7/06

【手続補正書】

【提出日】平成16年10月22日(2004.10.22)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0019

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0019】

〔実施例4～9及び比較例1～3〕

下記表2に示す組成の弾力性付与剤を調製した。得られた実施例4～9及び比較例1～3の弾力性付与剤について、下記各評価方法により毛髪に対する弾力性付与率、弾力性回復率について評価した。これらの結果を下記表2に示す。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0020

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0020】

(弾力性付与率の評価法)

20代女性の健常な毛髪を下記表2に示す実施例4～9及び比較例1～3の弾力性付与剤(溶液)に6時間浸漬処理後、20℃、湿度60%で一晩乾燥した。

浸漬処理前後のヤング率を比較し、下記式により弾力性付与率を求めた。

【数1】

〔6時間浸漬処理後のヤング率－未処理のヤング率〕

$$\text{弾力性付与率} (\%) = \frac{\text{未処理のヤング率} - \text{6時間浸漬処理後のヤング率}}{\text{未処理のヤング率}} \times 100$$

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0021

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0021】

(弾力性回復率の評価法)

また、20代女性の健常な毛髪にパーマ処理を加えた後、下記表2に示す実施例4～9及び比較例1～3の溶液に6時間浸漬処理後、20℃、湿度60%で一晩乾燥した。

浸漬処理前後における毛髪のヤング率を測定し、パーマ処理前のヤング率と比較することで弾力性回復率を下記式により求めた。

【数2】

(パーマ処理後に6時間浸漬処理後のヤング率-パーマ処理後のヤング率)

$$\text{弾力性回復率 (\%)} = \frac{(\text{パーマ処理前のヤング率} - \text{パーマ処理後のヤング率})}{\text{(パーマ処理前のヤング率} - \text{パーマ処理後のヤング率})} \times 100$$

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0022

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0022】

【表2】

		実施例						比較例		
		4	5	6	7	8	9	1	2	3
組成	没食子酸	2.0	-	-	-	-	-	-	-	-
	没食子酸メチルエステル	-	2.0	-	-	-	-	-	-	-
	局方タンニン酸	-	-	2.0	-	-	-	-	-	-
	グラヴィノール*1	-	-	-	2.0	-	-	-	-	-
	クロロゲン酸	-	-	-	-	2.0	-	-	-	-
	フロレジン	-	-	-	-	-	2.0	-	-	-
	アクアデュ-SPA-30*2	-	-	-	-	-	-	2.0	-	-
	両性高分子化合物*3	-	-	-	-	-	-	-	2.0	-
評価	ケラチン加水分解剤ペプチドガラクタノン化物	-	-	-	-	-	-	-	-	2.0
	エタノール	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0
評価	精製水	残部								
	弾力性付与率 (%)	19	23	33	19	17	13	0	2	1
	弾力性回復率 (%)	100	110	132	95	103	85	28	35	25

*1: プロシアニジン [キッコーマン(株)社製]

*2: ポリアスパラギン酸ナトリウム 30重量パーセント含有:味の素株式会社製 33.33%

精製水 66.67%

*3: N-メタクリロイルオキジエチルN, N-ジメチルアンモニウム- α -N-メチルカルビキシペタイン・メタクリル酸アルキルエステル共重合体(ダイヤケムコ社製, ユカフォーマーS)